

明秀学園日立高等学校 第一学年通信

東風吹かば

進路特別号

平成25年度

自分の将来を考える

卒業後の進路について 意識向上と強化を図る

この時期になると、最上級生である3年生のピリピリした緊張感で、学校内は張り詰めた雰囲気になります。大学受験、就職試験に挑む先輩たちの背中が大きくもあり、後輩諸君に対して将来の進路活動の大変さを訴えかけているようにも感じます。近年、3年生の進路活動を見ていると、進学、就職に関わらず共通して見られるのが、面接練習を中心に何度も何度も試行している姿です。「志望理由は?」「あなた自身についてのPRをしてください。」など、一般的な質問ですが答えは人それぞれ、十人十色です。

さて、諸君に質問です。「あなたはどのような人ですか?」即答できた人は何人位いるでしょうか。以外にも、自分自身のことを完全に理解できている人間は、もしかしたら我々、大人の中でも皆無に等しいかもしれません。かと言って、将来必ず訪れる進路活動において、必須課題となる面接試験で迷うことにならないよう、今から準備を始めましょう。

進路活動の一步は「自分探し」からです。

「自己理解のために」「自己分析」してみる

前述しましたが、諸君は自分のことをどれだけ分かっているのでしょうか?性格などを含めた特徴、趣味や特技、興味のある事物、ニヒスや本など自身に矢印を向けて考えたことはあるでしょうか。改めて考えてみると、新しい自分自身の発見に、正直驚く人も多くみられると思います。そう、自分は一番身近で、一番理解し難い存在なのかもしれません。

将来、進路活動にあたっては、必ずと言っていいほど面接試験が課せられます。その際、自分自身が理解できていないと、面接官の質問に答えることができないでしょう。今から少しずつ自分自身について分析する作業を通して理解できるように綿密に準備することを勧めます。進路の準備は「早期に動いて吉」といえます。日頃から意識して自己理解に努めたいものです。

コミュニケーション能力の向上を図る

学校が予備校や塾などと大きく異なるのは、学業をするだけの場所ではなく、学校行事等での団体活動を通しての仲間意識や帰属意識、規則や規律を守るといふ規範意識を身につけることができることだと考えます。将来、社会人として生活するには、様々な年代、性別や人種を超えた他者との関わり合いが必要となってくるでしょう。その際に最も重要視される要素が「コミュニケーション能力」だと言われています。これは授業だけでは身に付きませんし、教科書や参考書を読んでも答えが見い出せるものでもありません。普段の学校生活において、学級活動や部活動などの諸活動から自然と身に付いてくるものだと思います。自ら積極的に団体の場へ足を踏み入れる意識づくりが大切です。それが苦手だと感じる人もいますが、進路活動の一つの課題として克服できるよう勇気を持つた取り組みが必要です。

自らの「基礎学力」と「基本的な生活習慣」を見直す

進路を考えると、外してはならないのが、入学、入社試験で課せられる「学

力」です。諸君は現在まで、義務教育や高校受験を通して、知識や学力を身につけてきたのは、自分自身の進路実現のためだということに気づくでしょう。これまでに積み重ねてきた知識や学力の中でも「基礎学力」といわれる学力を見直してみましよう。

一般に「基礎学力」は「読み・書き・計算」に代表されるすべての学習を成立させる上で必須の基礎的な知識や技能とされています。学校の授業で、教科書等を使用した知識や技能の習得もそれに含まれます。つまり、学校で授業をしっかりと受けること。その理解度の確認作業として定期試験で好成績をえること、こそが「基礎学力」の見直しに最適といえます。今から予習、復習の習慣を(身につけていない者は)身につけ、コツコツと自宅学習などで確認していくしかありません。その中でつまづいた問題や疑問はそのまま放置せず、必ず先生に質問し、解決する「癖付け」を勧めます。小、中学で抜けた基礎学力についても同様です。

また、学校生活を含めた「基本的な生活習慣」も見直してみましよう。

将来、大学、専門学校、就職において、学校長推薦を得る条件として、次の基準をクリアしていなければ

なりません。

◆3年間の累積欠席日数が20日以内であること。

◆平均評定2.7以上。

◆公的指導等、生活上の指導歴がないこと。

◆明秀生として、ふさわしい人物であること。等。

これを見ると、時間や健康の管理をしつかりとし、「明るく、清く、凛々しい」明秀生として、挨拶などの礼儀作法や目上の人物との対応の仕方などにおいてスマートで「心・技・体」いずれにも偏らず、バランスの取れた人物像を常に意識して生活するよう心がけることが必要です。

3年の今頃になって、「ああ、あの時、ちゃんとやっていたら良かった」と後悔しない生活習慣を心がけましょう。

スタート前の心構えが肝心

何かを始めようとする時、誰もがまず、「よし、やってみようぞ!」という前向きな意識を持つことで、初めてスタートラインに立てると考えます。初めから無理だと思って、試合に挑む者はいません。いたとしても、必ず負けます。

白梅諸君!進路実現への本格的な活動が始まりました。「必ず!できる」という強い意識を持って、共にがんばりましょう!

東風(こち)吹かば にはひおこせよ梅の花
あるじなしとて 春を忘るな
菅原道真

菅原道真の愛した白梅が、主人を慕って一夜にして京都から太宰府に飛んできたという「飛び梅」伝説の句より。

「グローバル人材って、どんな人?」

原田規梭子先生進路講演会



一、二学年のA・Bコースを対象とした進路講演会が10月23日に本校体育館で行われました。講師は東洋学園大学副学長の原田規梭子先生。演題は「グローバル人材って、どんな人?」ということで、お話を聴くまでは難しい内容と思いましたが、自らの生い立ちから始まり、経験談を交えながらの内容とその親しみ深い話口調に引き込まれていくようで、約一時間余の時間が短く感じられました。

先生は大学で英米演劇を中心に研究し、様々な舞台や文芸作品に精通されています。今回の講演会では精選した作品や文献から先生が感動したものを事前にプリントにまとめてくれたこ

とで、耳と目から私たちにも分かり易く最後まで聴くことができました。中でも印象に残る言葉や場面がいくつかありました。

1992年、リオデジャネイロで開催された環境サミットにおいて「伝説のスピーチ」と言われたセヴァン・カリスリスズキさん当時のVTRが流され、全体がその素晴らしいスピーチに魅了されました。その後先生が「何を言いか、ではなく、何をやるかが大事だ。」と放った言葉には重みを感じました。また、「(一つの物事を)最後までやり遂げる情熱を持つことも大切である。」とも話した。

これから進路に向けて歩

き出した諸君にとっては、スタート前の心構えとして一石を投じる素晴らしい講演となりました。

未来を見つけたよ リクルート進路講演会

11月20日には、株式会社リクルートの講演会が行われました。講師はリクルートの社員(2年目)で富田亜紀子先生。早稲田大学を卒業し、就職難の状況を乗り越え、見事、現在の会社へ就職。高校時代はテニス部に所属し、部活動三昧の高校生活を送る。一年間の浪人生の波乱万丈な受験生活も経験している。

そのような自身の経験をもとに、若者目線で人生観や職業観をお話いただきました。

先生が現在働いている会社を選んだ理由は、「自分にとってやりがいを感じる全てを満たしていたから。」

企業側が高校生を採用するときに最も重視する点は?①協調性②コミュニケーション能力である。

これらの内容はワークシートと連動し、自ら書いてしっかりと頭に入れることができました。まとめは、「自分の知っていることを広げて、やりがいを感じる仕事を見つけよう!」そして「社会でもとめられている力を意識して高校時代を過ごそう!」という当たり前のようで、実現は難しく考えさせるものでした。



10月8日、秋晴れの高く青い空の下で、今年度の「体育的行事(体育祭)」が開催されました。

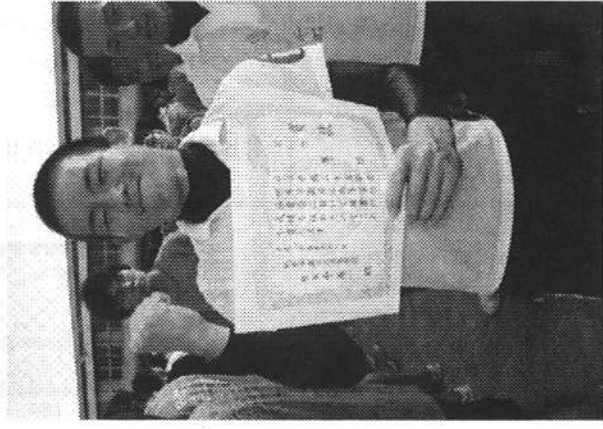
当日は台風の接近などにより、開催延期も懸念されましたが、天候は持ち直して一変。曇一つない大快晴の陽気となりました。むしろ、この時期には珍しく、湿度の高い夏の名残りの陽気…でした。そんなスポー

スポーツイベント

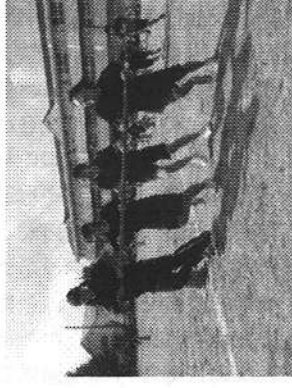
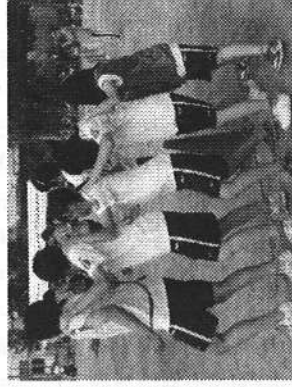
「体育的行事(体育祭)」

ツ日和に、年に一度全校生徒一同介しての「体育的行事(体育祭)」は、誰もが文化祭や修学旅行に次いで、楽しみにしている行事の一つでもあります。今回もこの日の天気のように、白梅諸君の爽やかなアインプレーが続出しました。

ほんの一部ですが、写真と共に思い出を迎ってみましょう。



学年賞 第一位 6組



学年賞 第二位 4組



MVP 8組 井上修行



MVP 4組 大井川明香

主任の独り言

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

今年も「新米」を美味しく頂きました。この時期になると、フツと浮かぶのがこの諺。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」である。

かつて私たち日本人は、農耕民族として、生活の主体となる稲作(農作業)を行行中で、自然の景色や動植物の形状から、その美しさを感じながら生活してきました。田ばに隆々と育ち生え揃った稲穂の群は、当時から豊作の象徴とされてきました。あぜ道からかがんで一つ一つ稲の茎を見つめると、細いながらも張りのある、しなやかな茎の先端には、きれいに並んだ黄金色の稲穂が弓状に垂れている。先人がその光景を見て、「稲が実を熟すほど穂が垂れ下がるように、人間も学問や徳が深まるにつれ謙虚になり、小人物ほど尊大に振る舞うものだ」ということ。」として一般にこの諺を用いるようになった。

私は単純にそう捉えない。かつての先人たちは個人でモノを見つめ感じてきたのだろうか。「結(ゆい)」という小さな集落単位の組織制度があったと聞いた。きつと先人たちはその光景を分かち合い、民族として共通の在り方を感じたに違いない。日本人として「謙虚な精神」を持つとうと。

欧米化、肉食系の現代。本来、脈々と息づく日本民族の血は、果たして明るく、清く、爽々しい色を保っているのだろうか。(主任)

明日のオリンピック

久しぶりに、日本国全体に明るいニュースが舞い込み、皆さんも、明るい未来を想像しているのではないのでしょうか？

勿論、7年後、再び東京(日本)に聖火がともる夏季オリンピックです。歴史をみていくと、第二次世界大戦以降で、夏季五輪を2度開く都市は、ロンドンと東京しかありません。前回の東京オリンピックは、「高度経済成長」の時に実施され、正に夢や希望に満ち溢れていた時代だったと思います。今回のオリンピックは、成熟した大会を期待されています。

7年後の主役は、誰になるのでしょうか？勿論、皆さんの年代でしょう。皆さんが主役になるわけです。また、オリンピックだけに目を向けることも大切ですが、皆さん一人一人の進路もそろそろ考える時期に来ているのではないのでしょうか？後4ヶ月もしたら、2年生に進級します。早く目標を持つことが、日々の生活にも張り合いがでてくるのではないのでしょうか？そのためにも、ご家庭でもそろそろ将来の事を話し合うことも重要ではないでしょうか？私自身も、12年前、この時期に担任の先生や進路の先生、親と相談を始めて、なんとなくですが、青空的な計画をたてていました。是非、7年後の日本を考えると同時に、皆さんも将来の事を考えてみませんか。私は選手としての参加を目指します。(ゴ)

保護者の皆様へ

本校の教職員は、お預かりするお子様の指導に常に全力であたります。しかし、目の届く範囲にも限界がございます。ご家庭内での生活状況、活動状況の把握につきましては、保護者の皆様のご協力が必要となります。以下の事項につきまして、ご理解の上、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

- 容姿・頭髪・化粧など
朝の登校時、また帰宅時の制服の着こなしや髪型、髪色等について、校則に準じたものであるか、毎時点検してください。
- 欠席・遅刻・早退の連絡
病気などの諸事情でやむなく欠席、遅刻、早退する場合は、必ず保護者から学校(担任)に連絡を入れてください。
- 登校時の持ち物
持ち物には必ず記名をお願いします。学校(学習)に必要ないものは持つてこさせないでください。また貴重品の管理については自己責任となりますが、やむおえない場合は、担任に預けるなどしてください。
- カバンの形状は自由ですが、華美で目立つものは避け、教科書等が入る大きさのものを持たせてください。「手ぶら」は禁止です。
- 携帯電話
持ち込みはできませんが、校内での使用は一切禁止となります。学校生活では身

に着けることなく、電源を切つてカバンにしまつておきます。万が一、使用したり、音が鳴つてしまった場合は、学校で預らせてもらいます。

- 昼食・弁当
パンや弁当の販売はありませんが、当面は弁当を持たせてください。パン、ジュース類の自動販売機は校内に設置されています。
- 登校時間・下校時間
登校時間は始業5分前となっております。ST・Sコースは8時05分。A・Bコースは8時25分までに入室完了するよう、時間に余裕を持って送り出してください。
- 下校時間は、コースや部活動などでそれぞれ異なりますが、あまりに遅い帰宅時間の際は、注意してください。
- その他、友人関係など
友人関係や学校での出来事など、お子様と会話する機会を多く持つて、些細な言動や動向から状況把握に努めてください。
- アルバイトは原則禁止となります。授業料減免制度や各種奨学金制度のご利用をお勧めします。
- その他、何でも結構です。ご不明、ご心配なことがありましたら、学校までお問い合わせください。

全ては、お子様の「夢実現」のために…
(学年主任)